

第四講 スパルタ帝国

帝国と遠征

陸上部隊の遠征記録

- 前 399 年 ティブロン¹の遠征 5000 名 (ネオダモデイス 1000 名)
Xen. Hell. 3. 1. 4.
- 前 397 年 デルキュリダスの遠征 7,000 名
DS. 14. 39. 5.
- 前 396 年 アゲシラオスの遠征 8000 名 (ネオダモデイス 2000 名)
Xen. Hell. 3. 4. 2.
10000 名 (*DS.* 14. 79. 2)
- 前 395 年 パウサニアス王のフォーキス遠征 6000 名
DS. 14. .81.1.
- 前 394 年 ネメアの戦い 13,500 名 (内 6,000 名 ライケダイモン人)
+600 騎+300 名 (クレタ人弓兵) +400 名 (投石兵)
Xen. Hell. 4. 2. 16.
- 前 383 年 オリュントス遠征 10,000 名 (内 ネオダモデイス・スキリテイス人 約 2,000 名)
Xen. Hell. 5. 2. 20; 24.
- 前 371 年 レウクトラの戦い 10,000~11,000 名+1,000 騎
(スパルタ市民兵約 700 名)
Xen. Hell. 6. 4. 15.

海上支配の必要性

- 前 394 年 クニドスの海戦 85 隻 (三段海戦)
Xen. Hell. 4. 3. 10-12.
- 前 390 年 エクディコス艦隊のロドス派遣 8 隻
Xen. Hell. 4. 8. 20
テレウティアスのロドス増派 12 隻+サモス船 7 隻
Xen. Hell. 4. 8. 23.
アナクシビオスのアビュドス派遣 3 隻+3 隻+1,000 名

Xen. Hell. 4. 8. 33.

前 387 年 アンタルキダスのヘレスポントス遠征 80 隻以上

Xen. Hell. 5. 1. 28.

前 376 年 ナクソスの戦い ポッリスの艦隊とカブリアスのアッティカ
艦隊の遭遇 12 隻

Plut. Phoc. 6; *Polyaenus*, 11. 2-3, 11.

前 375-73 年 ムナシッポスのケルキュラ遠征 60 隻+1,500 名傭兵

Xen. Hell. 6. 2. 3-4.

制海権の維持ではなく、アテナイの海上勢力と対抗し交易ルート遮断が
目的

艦隊：アテナイとの戦争継続のため＝戦略上の対称性

対アテナイ戦終了と共に艦隊の解散

あくまでも対アテナイ戦遂行の為の道具

外交による帝国追求

親スパルタ政権

ハルモステス

守備隊の駐留

抑圧的政策

内政干渉

民主政の廃止・寡頭政の樹立

ハルモステスの設置

十名のアルコン（リュサンドロスが組織した政治結社・特別な間柄の
人々より選出）

裁判権を十名のアルコンに

死刑執行に立会い

仲間の敵を追放

スパルタ式の政治を強制

守備隊の駐留

強大な軍事力

艦隊の維持

ペルシアからの補助金：ペルシア王子キュロスとの私的関係

同盟諸国からの寄付金

1,000 タラント以上 の 貢税 (DS. 14. 10. 2)

スパルタ本国の財政的脆弱性

安定的財源の欠如

スパルタ戦隊の弱小性

同盟艦隊への依存

外国人傭兵への依存

艦隊継続の欠如 (Xen. *Hell.* 2. 3. 7-8; 3. 4. 28)

300 X 30days X 200persons X 100ships X 8months=400T/year

Xen. *Hell.* 2. 3. 7; 14, Plut. *Lys.* 13.

ポリス間の人的結合

ヘタイレイア・クセニア・フィリアが帝国支配の核

スパルタの政治指導者との私的関係 (友人) がポリス間の公的関係

を規定

保護と協力の道徳的要請

スパルタ国内の指導者間の対立が外交政策に反映

競争社会としてのスパルタの文化 (名誉と恥辱)

キナドンの陰謀の素地

リュサンドロスとカッリクラティダスの対立

Plut. *Lys.* 6.

リュサンドロスとパウサニアス王との対立 (嫉妬)

Xen. *Hell.* 2. 4. 29. Cf. DS. 14. 33. 6, Lys. 18. 11-12, Paus. 3. 5.

4f.

アテナイ民主派との講和

アテナイでの経験が後世伝えられる

帝国の抑圧性の強調

スパルタの帝国支配の脆弱性

同盟国内の党派対立に引き釣り込まれる

スパルタ国内の対立が対外政策に連動

アゲシラオスとリュサンドロスの対立

Xen. Hell. 3. 4. 7-9, Plut. Ages. 7, Lys. 23.

アテナイでの民主政対寡頭政、十人体制のプロパガンダに利用

人口減少

戦術の変化